

## 第2回（次期）北九州市障害者支援計画策定委員会

### 都市基盤・自立生活支援部会（会議要旨）

日 時	平成23年11月1日（火）18:00～20:00
場 所	総合保健福祉センター6階 視聴覚室
出席委員 （8名）	市川委員、大関委員、桑園委員、小柳委員、杉原委員、林委員 比舗委員、米島委員
欠席委員 （1名）	オブザーバー 木下委員
事 務 局	【保健福祉局】 障害福祉部長、障害福祉課長、地域移行・精神保健福祉担当課長、 障害福祉センター所長、精神保健福祉センター所長 【関係課】 保健福祉局いのちをつなぐネットワーク推進課、建築都市局建築指導 課、建築都市局都市交通政策課、建設局道路計画課、消防局危機管理 室地域防災課、交通局運輸課
次 第	1 開会  2 議事 (1)(次期)北九州市障害者支援計画の事業について  3 報告事項 (1)「北九州市障害者支援計画実施計画」の総括について (2)平成23年度 北九州市障害児・者等実態調査について (3)「(次期)北九州市障害者支援計画」策定にかかる今後のスケ ジュールについて  4 閉会

**会 議 経 過**

発 言 者	発 言 要 旨
<b>事務局</b>	<p><b>【開会】</b></p> <p>ただ今から、第2回「(次期)北九州市障害者支援計画策定委員会都市基盤・自立生活支援部会」を開催する。</p> <p>本日も前回と同様、バリアフリーの観点から委員の皆様のご議論を聞いていただくために、交通関係者に事務局として参加していただいている。また、防災の関係からも関係部署に参加していただいている。</p> <p>本部会で審議いただく項目は、&lt;施策の方向性：5&gt;の「自立生活のための地域基盤整備」と、&lt;施策の方向性：6&gt;の「雇用・就業機会の確保と拡大」の2項目である。</p> <p>なお、本部会の公開について、策定委員会と同様に公開とさせていただく。なお、会議終了後は、会議録を作成し、市のホームページに掲載して市民の皆様へ情報提供させていただくので、ご協力をお願いします。</p> <p style="text-align: center;"><b>配布資料確認</b></p> <p>この後の進行は、部会長をお願いします。</p>
<b>部会長</b>	<p><b>【議事】</b></p> <p>それでは、議事に沿って進めてまいりますので、委員の皆様にはご協力をお願いします。</p> <p><b>【(次期)北九州市障害者支援計画の事業について】</b></p> <p>議事1の「(次期)北九州市障害者支援計画(素案)」の&lt;施策の方向性：5&gt;の「自立生活のための地域基盤整備」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<b>障害福祉課長</b>	<p><b>資料1、2に基づき事務局説明</b></p>
<b>部会長</b>	<p>&lt;施策の方向性：5&gt;の「自立生活のための地域基盤整備」について説明をしていただいたが、何かご質問、ご意見ございましたら、どうぞ。</p>
<b>委員</b>	<p>お尋ねだが、防災のところで避難の問題も大事だと思うが、ライフラインが止ったとき、電力が止ったときの対応が大事な時代になってきているかと思うので、例えば、北九州市で、在宅で呼吸器を使っている人がどれくらいいるのかとか、本当に一番やはり電気の影響というのがあるので、その辺のところを書き込む必要性があるのではないかと思う。</p>

<p><b>障害福祉課長</b></p>	<p>その中の、ライフライン確保のために充電器とかの把握を書き込むということだが、今の相談支援体制の中の充実の中で、地域生活支援センターを基幹相談支援センターとするという方向性を示している。その中で、それぞれの基幹相談支援センターの職員の方が地域ごとに担当地区を持って、定期的に訪問するというのを、検討しているが、その家庭訪問等の中で、一人ひとりの方の避難の状況についても、消防と協働して把握をしていくような取り組みをさせていただきたいと思う。</p> <p>障害のある方については、委員ご承知のとおり、一人ひとり状態が異なっているので、一義的に充電器があるかどうかとか、いろいろなことを画一的にするというのは、かなり非効率な面もある。お一人、お一人の所にお邪魔して、その方に合った対策というのを、それぞれ把握していく必要があると考えている。</p>
<p><b>部会長</b></p>	<p>&lt; 施策の方向性：6 &gt; 「雇用・就業機会の確保と拡大」について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p><b>障害福祉課長</b></p>	<p><u>資料 1、2 に基づき事務局説明</u></p>
<p><b>部会長</b></p>	<p>では、ただ今の説明について、意見、質問があればどうぞ。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>雇用について、充実施策を書いているが、本当に身につくように、いろいろな関係機関、福祉事業所、特に学校関係、そういうところの連携に関しては、やはり行政がしっかりと絡んでいくような仕組みがないと、なかなか難しいことがある。企業との仕掛けに関しては、当然、市もきちんと入っていると、その仕掛けを含めたものを、ぜひ、この文面の中にあるというふうに理解をしたいと思っている。</p>
<p><b>障害福祉課長</b></p>	<p>障害者の雇用については、今回の、次期障害者支援計画の中の入り口では、基幹相談支援センター、出口のところでは就労というところで、重要な位置付けということで、計画の中にもかなり力を入れて書き込みをさせていただいた。ご指摘のあった商工会議所等、経済界との連携については、昨年度、平成22年度から企業の合同面接会に補助する仕組みを導入し、引き続き、この企業との連携、それから経済団体との連携というのは、市も中心となって、しごとサポートセンターと一体となって進めていきたいと考えている。</p>
<p><b>部会長</b></p>	<p>就労というのが、やはり障害者にとって非常に大きな目標なので、その就労を支援していく仕組み、システムを強化するということが大変重要なことだと思う。ほかに何か、意見はないか。</p>

<p><b>委員</b></p>	<p>まちづくりネットワークというのは、手弁当なので、とても厳しい活動をしている。プロの設計士が設計をしても、どう使われていくのかということでは、やはり障害者の経験的な知識だとか、障害種別が違くと典型的に、車いすの人は段差が困るし、視覚障害の人は段差がないと歩車道の境界が分からないとか、障害によっては、必ずしも利害が一致しないところを、やはり調整をとって行く。これから、知的障害の人、精神障害の人のバリアフリー、情報表示のあり方という辺り、安心感だったりというところで、従来にないバリアフリーのテーマを研究・検討しているが、活動への促進というところで、また、女性ということで、バランスがかなりあるのは何とかならないのかと思っている。</p> <p>もう1点、個別の掲示されている事業について、個々の事業の見直しというのは、併せてされると考えていいのか。先ほど、意見が言えなかったが、緊急通報にしても、日常生活用具の給付事業にしても、再掲で挙げられているものの中に検討していく余地がたくさんあると思っているので、その辺のところをお聞きしたい。</p> <p>3つ目が私の数え間違いだったら申し訳ないのだが、旧計画のある程度の部分を踏襲していると思われるので、全計画のところの事業を数えると34あると思われるのだが、今回数えたら22になっているのだが、このところのプラスマイナスのところを大ざっぱに説明していただけるとありがたい。</p>
<p><b>障害福祉課長</b></p>	<p>1点目、まちづくりネットワークの関係のボランティア活動については、手弁当で行っているというところについての費用弁償的なものがないかというお尋ねだろうと思う。予算の措置上は、この活動に対しての一定額の補助金を市としては出しているという状況である。これは事実関係のみである。</p> <p>それから2点目の、今、ご提示させていただいた既存の事業についての見直しはどうかということだが、今回は計画を策定するというところで、この一つ一つの事業の、今後6年間の方向性を示させていただいた。また、この委員会が終わったあとは、当然今の現計画の中でもフォローアップの体制というのを確立して、事業の進捗については、その中でいろいろとご意見をいただいている。次期計画についても、事業の進捗状況等について、ご意見をいただける場を設けようと思っている。その中で、現在の事業についてのご意見、問題点については、その場でご意見をいただきながら、またより良いものにさせていただければと思っている。</p> <p>それから、3点目の計画事業で、従前のところとほとんど一緒だということで、事業数が減っている理由ということではないが、従来この現計画の都市基盤の整備については、精神地域移行の事業が入っていた。今度は、現計画ではその精神地域移行の事業については、支援体制の1のほうに移行し</p>

<p><b>部会長</b></p>	<p>た関係で、事業数が減っているというか、移行したということで、事業数の基本的なものについては、増減はない。</p> <p>全体の計画の中での事業数の変更ではなく、組み換えがあったということである。</p> <p>それでは、続いて、報告事項に入りたいと思う。報告事項の(1)「北九州市障害者支援計画実施計画の総括について」、事務局から説明をお願いします。</p>
<p><b>障害福祉課長</b></p>	<p><a href="#">資料3に基づき事務局説明</a></p>
<p><b>部会長</b></p>	<p>次に報告事項(2)「平成23年度 北九州市障害児・者等実態調査について」事務局から、説明をお願いします。</p>
<p><b>障害福祉課長</b></p>	<p><a href="#">資料4に基づき事務局説明</a></p>
<p><b>部会長</b></p>	<p>それでは、次に報告事項(3)『(次期)北九州市障害者支援計画策定』にかかる今後のスケジュールについて、事務局から、説明をお願いします。</p>
<p><b>障害福祉課長</b></p>	<p><a href="#">資料5に基づき事務局説明</a></p>
<p><b>部会長</b></p>	<p>それでは、本日の議事等は終了するが、全体を通じて、ご質問等があれば、どうぞ。</p>
<p><b>委員</b></p>	<p>人権啓発について、もう少し障害者と市民が一緒に何かできるような事業を挙げなくていいのかと、やはり差別とかは、接して初めて起こっていくと思うので、あまりにもこの数字が低いので、何か交流するような事業は計画の中で盛り込まれていいのかなと思った。</p>
<p><b>障害福祉課長</b></p>	<p>障害者の方と地域の方がもっと触れ合う場を作ったらどうか、というご指摘については、私どもも全く同感である。それで、この基本計画の中では、資料1の4ページのところにも書かせていただいたが、まずは、委員ご指摘のとおり、障害のある方と障害のない方の触れ合う場を作っていく必要があるということで、防災的な視点ということで書いたが、この部会の中でも委員からご指摘があったように、日ごろから障害のある方とない方が触れ合っているいろいろな活動をしていくと、お互いにいろいろな摩擦があるかもしれな</p>

	<p>いが、見たり一緒に活動したりするということが重要ということで、その意味でも、まずは地域に根差した自治会等に障害のある施設、事業所がご参画をいただいて、その地域の中でその地域の方が一緒にご参画をしていただくというところから始めてはどうかということで、「自治会等との協力」というのを明記させていただいた。</p> <p>これ以外にも、障害のある方とない方の触れ合う機会というのは、あらゆる場で、企画なり考えていき、共にまずはお互いに触れ合っていくという機会を、今後も増やしていければと考えている。</p>
<b>部会長</b>	<p>障害者差別とかそういう一般市民の意識の問題が、これからも大きな市の課題になってくると思うが、いろいろな研究データなどを見てみると、障害者と一般民の方が、共通の目的を持って、共通の作業をやるというようなことで、一緒に体験をするということが、体験する前と後で、一番意識が変わってくるということがある。私も40年近く、「あゆみの会」でキャンプなどやっているが、ああいうような形で、若い人たちが障害者とともに生活をし、体験をして、それなりの達成感を感じることによって、差別意識などなんか薄らいでいくみたいなのところがあるので、これからも12月には障害者週間もありますし、いろいろな形で、啓発を強めていただければと思う。</p> <p>それでは、本日の部会は、これで終了させていただく。</p>
<b>事務局</b>	<p>最後に、冒頭にも申し上げたが、意見シートを配布している。ご意見のある方については、7日までにいただければと考えている。よろしく願いする。</p>